

9. 中学校

(1) 施設の概要

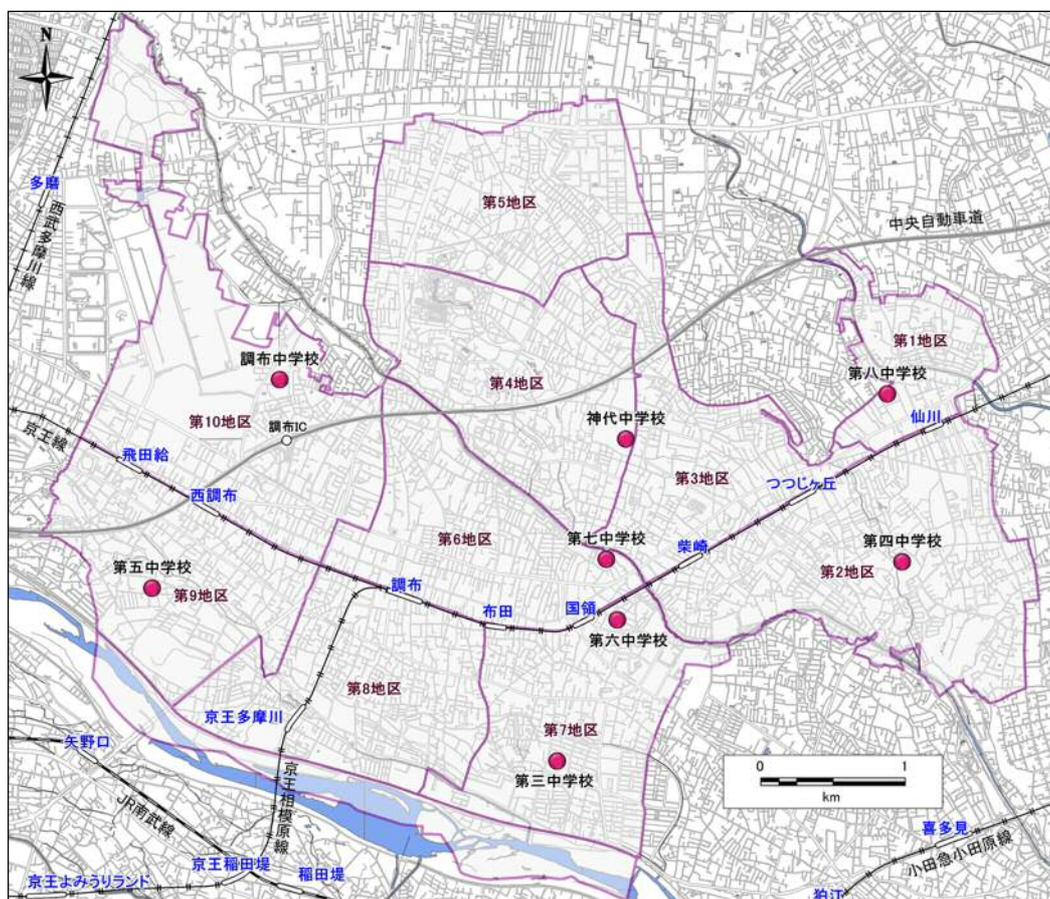
中学校は、学校教育法第45条に基づき、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的として設置しています。

市内には中学校が8施設あり、それぞれの中学校を大地震等による家屋の倒壊、焼失等で被害を受けた者または現に被害を受ける恐れのある者を一時的に受入れ、保護するための避難所に指定しています。



第五中学校

【図表 3-II-181】施設配置図



【図表 3-II-182】施設配置等に関する情報

施設名称	町丁目	広域的地域 (4区分)	基礎的地域 (10区分)	生活地区 (20区分)	開館時間(通常)	定期休館日(通常)
調布中学校	富士見町4丁目	西部地域	第10	石原小	-	-
神代中学校	佐須町5丁目	北部地域	第4	上ノ原小	-	-
第三中学校	染地3丁目	南部地域	第7	杉森小	-	-
第四中学校	若葉町3丁目	東部地域	第2	若葉小	-	-
第五中学校	上石原3丁目	西部地域	第9	第三小	-	-
第六中学校	国領町3丁目	南部地域	第7	国領小	-	-
第七中学校	八雲台2丁目	南部地域	第6	八雲台小	-	-
第八中学校	仙川町2丁目	東部地域	第1	緑ヶ丘小	-	-

(2) 土地の状況

全ての中学校が市有地に立地しています。敷地面積は合わせて約 16 万 6,000 m²あります。これは市が保有する公共施設用地全体の面積の 25.3%に相当しており、小学校に次ぐ面積を保有しています。

【図表 3-II-183】土地の状況に関する情報

施設名称	敷地の保有形態	敷地面積(m ²)	市有地面積(m ²)	市有地の割合(%)	【参考】主な用途地域 ()内は建ぺい率、容積率
調布中学校	全て市有地	40,031.00	40,031.00	100.0%	第一種中高層住居専用地域(50%, 100%)
神代中学校	全て市有地	28,066.00	28,066.00	100.0%	第一種中高層住居専用地域(60%, 200%)
第三中学校	全て市有地	22,376.56	22,376.56	100.0%	第一種中高層住居専用地域(60%, 200%)
第四中学校	全て市有地	18,420.15	18,420.15	100.0%	第一種中高層住居専用地域(60%, 200%)
第五中学校	全て市有地	17,207.00	17,207.00	100.0%	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
第六中学校	全て市有地	14,124.55	14,124.55	100.0%	第一種中高層住居専用地域(60%, 200%)
第七中学校	全て市有地	12,858.72	12,858.72	100.0%	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
第八中学校	全て市有地	12,693.84	12,693.84	100.0%	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
合計		165,777.82	165,777.82	100.0%	

(3) 施設・建物の状況

1) 施設量及び施設形態

中学校の建物は全て市が保有しています。総延床面積は 8 施設合わせて約 5 万 9,300 m²であり、調布市の公共施設の総延床面積の 16.2%に相当します。1 施設当たりの延床面積は平均約 7,410 m²となります。

調布市では、小・中学校が持つ施設機能の一部について、学校の授業等での使用時間外に、市民（個人または団体）へ一般開放を行っている学校があります。調布中学校では、弓道場とテニスコート（3 面）を開放しています。弓道場は団体利用、テニスコートは個人利用のみ可となっており、いずれも有料で、事前登録を要します。

【図表 3-II-184】施設量及び施設形態に関する情報

施設名称	建物名称	施設専有 延床面積 (㎡)	建物全体 延床面積 (㎡)	保有形態	施設形態	構造	地上 階数	地下 階数
調布中学校	南西校舎	2,934.00	2,934.00	市保有	単独施設	RC	3	0
	北校舎	2,607.00	2,607.00	市保有	単独施設	RC	3	0
	南東校舎	1,402.00	1,402.00	市保有	単独施設	RC	3	0
	弓道場射場	120.00	120.00	市保有	単独施設	RC	1	0
	弓道場の場	26.00	26.00	市保有	単独施設	RC	1	0
	中央校舎	273.00	273.00	市保有	単独施設	RC	2	0
	体育館	2,033.00	2,033.00	市保有	単独施設	RC	2	0
神代中学校	弓道練習場	30.00	30.00	市保有	単独施設	S	1	0
	体育館	1,237.00	1,237.00	市保有	単独施設	S	1	0
	北西校舎	2,734.00	2,734.00	市保有	単独施設	RC	4	0
	南西校舎	1,853.00	1,853.00	市保有	単独施設	RC	3	0
	南東校舎	689.00	689.00	市保有	単独施設	RC	3	0
	格技棟	685.00	685.00	市保有	単独施設	RC	2	0
第三中学校	北東校舎	1,977.00	1,977.00	市保有	単独施設	RC	4	0
	北西校舎	1,773.00	1,773.00	市保有	単独施設	RC	3	0
	南東校舎	1,218.00	1,218.00	市保有	単独施設	RC	3	0
	南中央校舎	2,254.00	2,254.00	市保有	単独施設	RC	3	0
	南西校舎	1,609.00	1,609.00	市保有	単独施設	RC	3	0
	第2体育館	1,112.00	1,112.00	市保有	単独施設	S	2	0
第四中学校	第1体育館	1,432.00	1,432.00	市保有	単独施設	RC	2	0
	北東校舎	1,058.00	1,058.00	市保有	単独施設	RC	3	0
	西校舎	3,064.00	3,064.00	市保有	単独施設	RC	4	0
	体育館	856.00	856.00	市保有	単独施設	S	2	0
第五中学校	東校舎	2,441.00	2,441.00	市保有	単独施設	RC	4	0
	中央校舎	3,430.00	3,430.00	市保有	単独施設	RC	4	0
	体育館	801.00	801.00	市保有	単独施設	RC	2	0
	南東校舎	1,687.00	1,687.00	市保有	単独施設	RC	3	0
	南西校舎	410.00	410.00	市保有	単独施設	RC	2	0
	北校舎	684.00	684.00	市保有	単独施設	RC	2	0
第六中学校	北西校舎	583.00	583.00	市保有	単独施設	RC	4	0
	南校舎	2,824.00	2,824.00	市保有	単独施設	RC	4	0
	体育館	821.00	821.00	市保有	単独施設	S	2	0
第七中学校	北校舎	2,339.00	2,339.00	市保有	単独施設	RC	4	0
	南東校舎	2,650.00	2,650.00	市保有	単独施設	RC	4	0
	体育館	813.00	813.00	市保有	単独施設	S	2	0
	南西校舎	356.00	356.00	市保有	単独施設	RC	4	0
第八中学校	北校舎	1,513.00	1,513.00	市保有	単独施設	RC	4	0
	校舎	4,158.00	4,158.00	市保有	単独施設	RC	4	0
	体育館	822.00	822.00	市保有	単独施設	S	2	0
合 計		59,308.00	59,308.00					

2) 建物性能

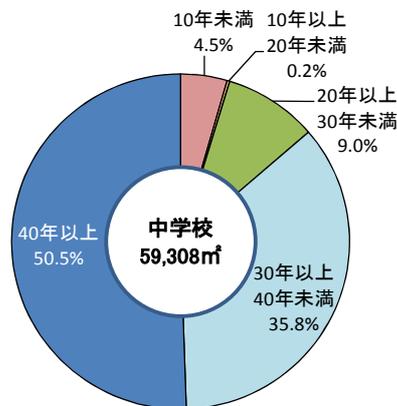
中学校の建物は、総延床面積の 86.3%が建設後 30 年以上経過しており、40 年以上経過している施設は延床面積で 50.5%に上ります。全 8 施設のうち 6 施設が建設後 40 年以上経過する建物を有しています。

学校施設には、校舎、体育館、プールがあり、校舎については、生徒数の増加に対応するため増築を繰り返していることから、建設年度が異なる建物で構成されています。

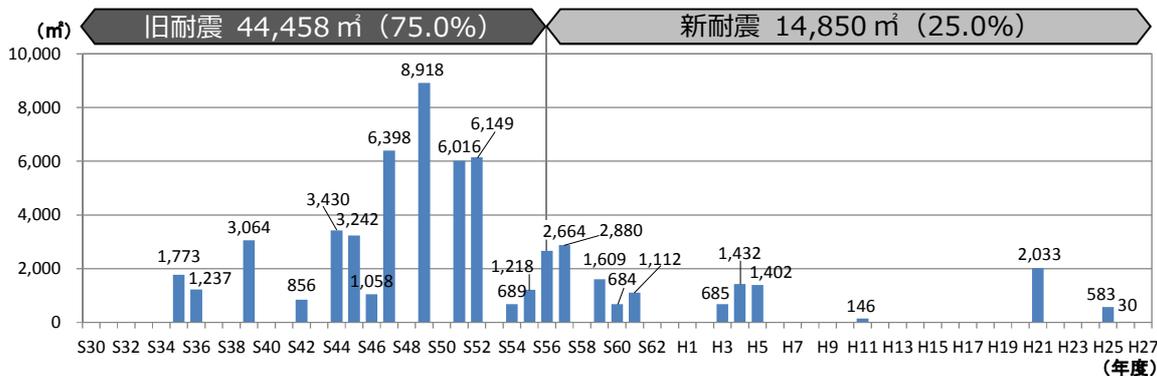
旧耐震基準の建物は総延床面積の75.0%を占めており、全ての中学校に旧耐震基準の建物が含まれています。なお、いずれの建物も耐震診断の結果、一定の耐震性を確保しているか、耐震改修を実施済みです。

【図表 3-II-185】建設後経過年数の割合

(市有施設の集計)



【図表 3-II-186】建設年度別延床面積 (市有施設の集計)



バリアフリーについては、玄関、駐車場、通路、階段は概ね対応しています。

【図表 3-II-187】建物性能に関する情報

(保有施設のみ) (○=対応済、△=一部対応、×=未対応、- =該当なし)

施設名称	建物名称	建設時期		耐震基準	バリアフリー対応の状況						
		建設年度	経過年数		玄関	駐車場	通路	階段	EV	WC	標示
調布中学校	南西校舎	S49	40	旧耐震	○	○	△	△	-	×	×
	北校舎	S57	32	新耐震	-	○	△	△	-	×	×
	南東校舎	H5	21	新耐震	○	○	△	△	-	○	×
	弓道場射場	H11	15	新耐震	×	○	-	-	-	-	×
	弓道場の場	H11	15	新耐震	×	○	-	-	-	-	-
	中央校舎	S57	32	新耐震	-	○	△	-	-	-	×
	体育館	H21	5	新耐震	○	○	○	△	○	○	△
	弓道練習場	H26	0	新耐震	○	○	○	-	-	-	×
神代中学校	体育館	S36	53	旧耐震	-	△	△	-	-	×	×
	北西校舎	S47	42	旧耐震	○	△	△	△	-	○	×
	南西校舎	S51	38	旧耐震	-	△	△	△	-	×	×
	南東校舎	S54	35	旧耐震	-	△	△	-	-	-	×
	格技棟	H3	23	新耐震	×	△	△	△	-	×	×
	北東校舎	S47	42	旧耐震	△	△	△	△	-	×	×

【図表 3-II-188】建物性能に関する情報（続き）

(保有施設のみ) (O=対応済, △=一部対応, ×=未対応, -=該当なし)

施設名称	建物名称	建設時期		耐震基準	バリアフリー対応の状況						
		建設年度	経過年数		玄関	駐車場	通路	階段	EV	WC	標示
第三中学校	北西校舎	S35	54	旧耐震	-	△	△	△	-	-	×
	南東校舎	S55	34	旧耐震	△	△	△	△	-	-	×
	南中央校舎	S56	33	新耐震	○	△	△	△	-	-	×
	南西校舎	S59	30	新耐震	○	△	△	△	-	-	×
	第2体育館	S61	28	新耐震	○	△	△	-	-	-	×
	第1体育館	H4	22	新耐震	○	△	△	-	-	○	×
第四中学校	北東校舎	S46	43	旧耐震	△	△	△	△	-	-	×
	西校舎	S39	50	旧耐震	○	△	△	△	-	-	×
	体育館	S42	47	旧耐震	○	△	△	-	-	-	×
第五中学校	東校舎	S45	44	旧耐震	-	△	△	△	○	○	×
	中央校舎	S44	45	旧耐震	○	○	△	△	-	-	△
	体育館	S45	44	旧耐震	○	○	△	-	-	-	×
	南東校舎	S47	42	旧耐震	-	○	△	△	-	-	○
	南西校舎	S56	33	旧耐震	△	○	△	△	-	-	×
	北校舎	S60	29	新耐震	△	○	△	△	-	-	×
第六中学校	北西校舎	H25	1	新耐震	○	○	○	△	-	-	△
	南校舎	S49	40	旧耐震	-	△	△	△	-	-	×
	体育館	S49	40	旧耐震	○	△	△	-	-	-	△
第七中学校	北校舎	S49	40	旧耐震	○	△	△	△	-	-	×
	南東校舎	S51	38	旧耐震	○	△	△	△	-	-	△
	体育館	S52	37	旧耐震	○	△	△	-	-	-	×
	南西校舎	S52	37	旧耐震	-	△	○	-	-	-	×
第八中学校	北校舎	S51	38	旧耐震	-	△	△	△	-	-	×
	校舎	S52	37	旧耐震	○	△	△	△	-	-	×
	体育館	S52	37	旧耐震	○	△	△	-	-	-	△

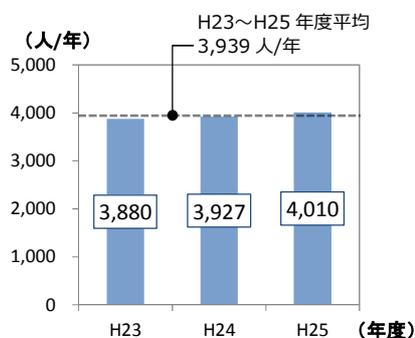
(4) 施設利用の状況

1) 生徒数

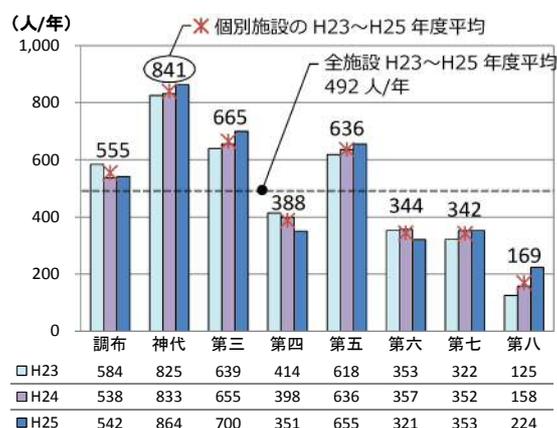
中学校の総生徒数は平成23年度～平成25年度の平均で約3,940人となっており、1施設当たりの生徒数の平均は492人となっています。

【図表 3-II-189】中学校の生徒数の推移

ア 総生徒数



イ 施設別の生徒数



(5) 管理運営状況

1) 管理運営の概要

中学校の管理運営は、全て市の直営です。

2) 施設の維持における年間コスト

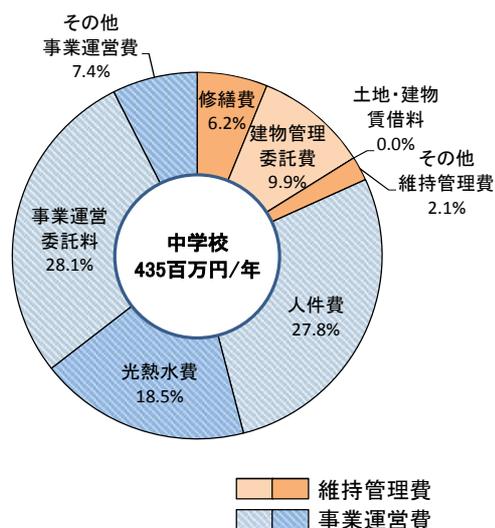
中学校全施設における年間の管理運営費（維持管理費＋事業運営費）は、平成23年度～平成25年度の平均で約4億3,500万円であり、そのうちの28.1%（約1億2,200万円）を事業運営委託料、27.8%（約1億2,100万円）を人件費、18.5%（約8,040万円）を光熱水費が占めています。

施設整備相当額を含むフルコストは、年間約7億6,100万円となります。

管理運営費から事業収入を差し引いた純コストは、年間約4億3,500万円です。

【図表 3-II-190】

年間の管理運営費の内訳
(平成23年度～平成25年度の平均)



【図表 3-II-191】施設の維持における年間コストの一覧

(平成23年度～平成25年度の平均)

単位: 千円/年

施設名称	運営形態	維持管理費(a)	事業運営費(b)	管理運営費(c) =a+b	施設整備相当額/年(d)	フルコスト(e) =c+d	事業収入(f)	純コスト(g) =c-f
調布中学校	直営	11,293	54,846	66,139	51,838	117,977	10	66,129
神代中学校	直営	12,329	56,594	68,923	50,463	119,386	0	68,923
第三中学校	直営	11,974	55,778	67,752	57,508	125,260	0	67,752
第四中学校	直営	8,148	42,458	50,606	34,986	85,592	15	50,591
第五中学校	直営	8,837	44,920	53,757	41,773	95,529	0	53,757
第六中学校	直営	10,188	38,049	48,237	32,912	81,149	5	48,232
第七中学校	直営	8,052	36,562	44,614	29,326	73,940	0	44,614
第八中学校	直営	8,269	26,488	34,757	27,390	62,147	0	34,757
合計		79,090	355,697	434,786	326,194	760,980	30	434,756

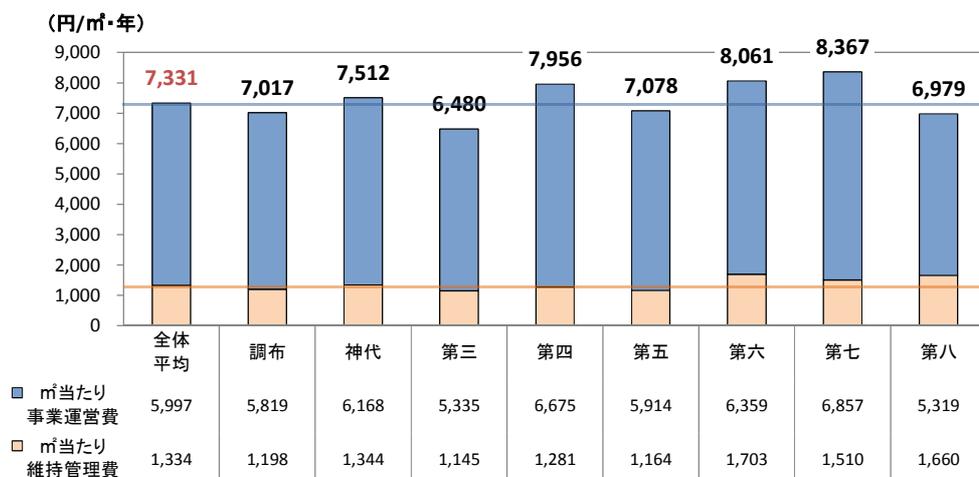
3) 単位当たりコスト

① 1㎡当たりの年間管理運営費

中学校の年間の管理運営費を1㎡あたりに換算すると、全施設の平均では維持管理費が約1,330円/㎡、事業運営費が約6,000円/㎡、合わせて約7,330円/㎡となります。

【図表 3- II -192】 1㎡当たりの年間管理運営費の学校別比較

(平成 23 年度～平成 25 年度の平均)

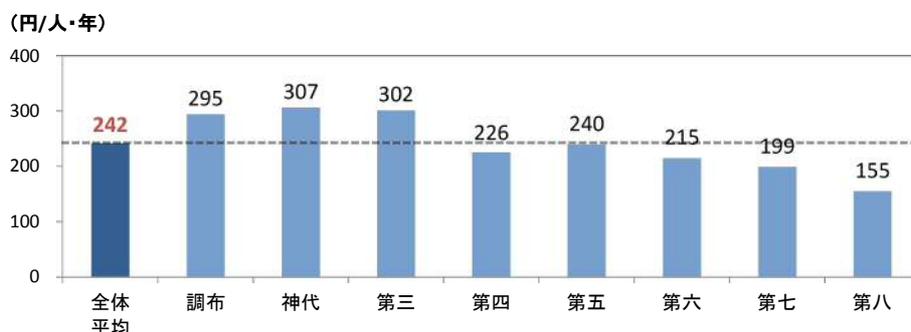


② 市民 1 人当たりが負担する年間純コスト

中学校の維持における年間純コストを市民 1 人当りに換算すると、全施設の合計で約 1,940 円/人、1 施設当たりの平均で 242 円/人になります。

【図表 3- II -193】 市民 1 人当たりが負担する年間純コストの学校別比較

(平成 23 年度～平成 25 年度の平均)



(6) 今後見込まれる改修・更新費の試算

中学校全施設の改修・更新(建替え)における将来経費を【図表 3- I -24】(35 ページ) の計算方法で形式的に試算した場合、平成 27 年度以降、今後 20 年間で約 96 億 3,000 万円の改修費及び約 98 億 9,000 万円の更新費の発生が見込まれます。改修費・更新費が集中的に発生するのは 30 年目までの期間となります。

【図表 3- II -194】 改修・更新経費の試算

金額の単位: 百万円

	改修費	更新費	合計	
			発生額	割合
1～10年目	9,608	2,004	11,612	31.4%
11～20年目	25	7,888	7,912	21.4%
21～30年目	450	7,004	7,454	20.2%
31～40年目	0	1,754	1,754	4.7%
41～50年目	1,761	48	1,809	4.9%
51～60年目	5,520	873	6,393	17.3%
総計	17,363	19,572	36,935	100.0%

(7) 中学校における課題認識

1) 施設の性能・機能の視点からの課題

全8施設のうち6施設が建設後40年以上経過している建物を有しています。生徒の学校生活の安全を最優先にした計画的な保全を行う必要があります。

2) 施設の配置の視点からの課題

中学校の敷地がまとまった大規模な市有地であることを鑑み、小学校の状況を踏まえながら、施設の更新等の機会を捉えてこれを効果的に活用して、地域コミュニティの拠点形成などに資する学校施設の多機能化を検討することが求められます。

10. 文化施設

(1) 施設の概要

文化会館たづくりは、文化の振興、市民の健康保持増進、情報の提供、防災対策の促進等に寄与することを目的として設置しました。最大定員 500 名の「くすのきホール」、最大定員 270 名の「むらさきホール」の他、各種会議室、学習室など多種多様な貸室を有しています。



文化会館たづくり

グリーンホールは、市民の自主的な文化活動の場の提供とともに、芸術文化活動の振興を図ることを目的に設置しました。最大定員 1,307 名の「大ホール」、最大定員 300 名の「小ホール」を有しています。



グリーンホール

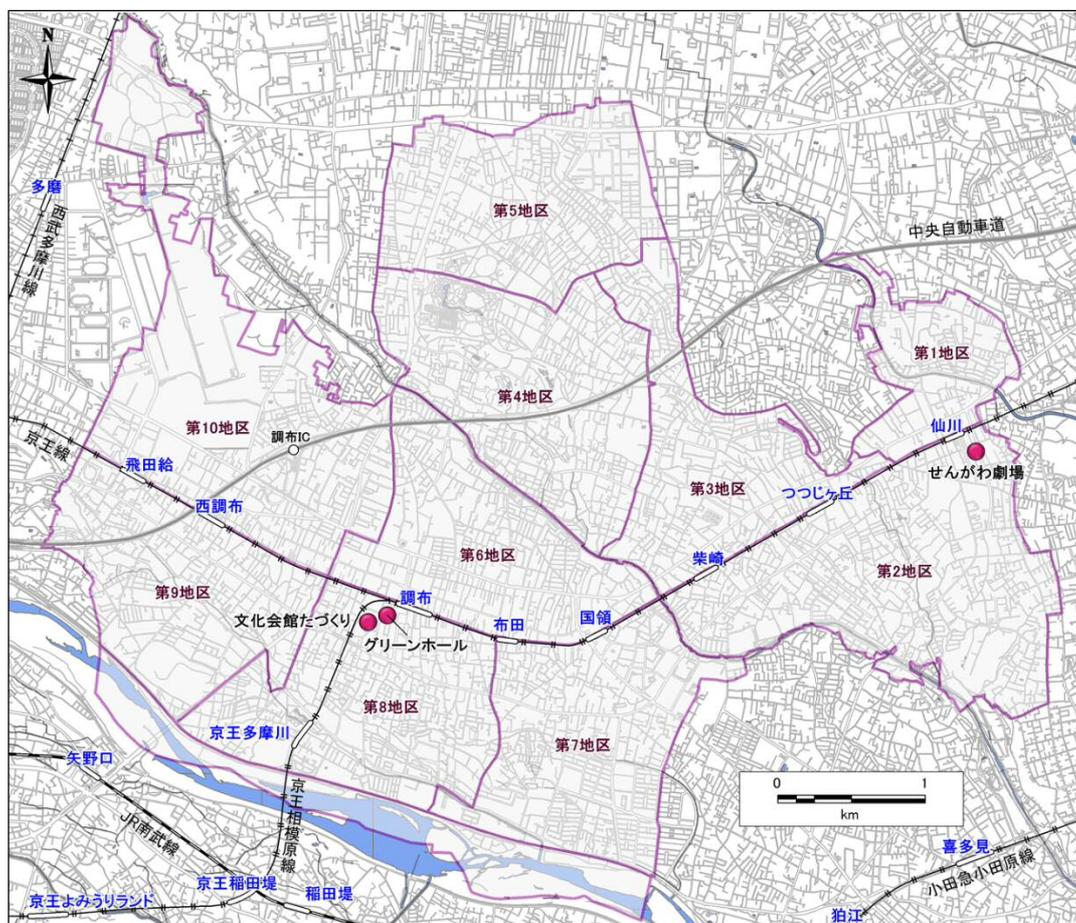
せんがわ劇場は、舞台芸術を楽しむ市民を育成し、支援する拠点になることを目的に、地域密着型の文化施設として設置しました。最大定員 121 名の雛壇式客席を持つホールやリハーサル室を有しています。



せんがわ劇場

3 施設とも、災害時に帰宅が可能になるまで待機する場所がない帰宅困難者を一時的に受け入れる一時収容可能施設となっています。

【図表 3-II-195】施設配置図



【図表 3-II-196】施設配置等に関する情報

施設名称	町丁目	広域的地域 (4区分)	基礎的地域 (10区分)	生活地区 (20区分)	開館時間(通常)	定期休館日(通常)
文化会館たづくり	小島町2丁目	南部地域	第8	富士見台小	平日・土曜・日曜・祝日 8:30~22:00	毎月第4月曜及び翌日 年末年始
グリーンホール	小島町2丁目	南部地域	第8	第一小	平日・土曜・日曜・祝日 8:30~22:00	毎週月曜・年末年始
せんがわ劇場	仙川町1丁目	東部地域	第2	滝坂小	平日・土曜・日曜・祝日 9:00~22:00	毎月第3月曜・年末年始

(2) 土地の状況

文化会館たづくりは敷地の一部を民間から賃借しています。残りの2施設の敷地は市有地となっています。

【図表 3-II-197】土地の状況に関する情報

施設名称	敷地の保有形態	敷地面積(m ²)	市有地面積(m ²)	市有地の割合(%)	【参考】主な用途地域 ()内は建ぺい率、容積率
文化会館たづくり	一部借地	5,092.11	2,193.85	43.1%	近隣商業地域(80%, 300%) 商業地域(80%, 500%)
グリーンホール	全て市有地	4,798.01	4,798.01	100.0%	商業地域(80%, 600%)
せんがわ劇場	全て市有地	1,439.35	1,439.35	100.0%	第二種中高層住居専用地域(60%, 200%)
合計		11,329.47	8,431.21	74.4%	

(3) 施設・建物の状況

1) 施設量及び施設形態

全ての文化施設の建物は市が保有しています。そのうち、文化会館たづくりは市が保有する施設の中でも最も延床面積の大きい施設であり、約2万5,700㎡となっています。文化施設全体の延床面積は3万4,300㎡となっています。

文化会館たづくりは中央図書館と、せんがわ劇場は仙川保育園、仙川ふれあいの家と複合しています。

【図表 3-II-198】施設量及び施設形態に関する情報

施設名称	建物名称	施設専有延床面積(㎡)	建物全体延床面積(㎡)	保有形態	施設形態	構造	地上階数	地下階数
文化会館たづくり	文化会館たづくり	25,717.18	30,083.78	市保有	複合施設	SRC	13	2
グリーンホール	グリーンホール	7,288.25	7,288.25	市保有	単独施設	SRC	5	1
せんがわ劇場	仙川保育園・せんがわ劇場・仙川ふれあいの家	1,255.35	3,056.50	市保有	複合施設	RC	3	0
合計		34,260.78	40,428.53					

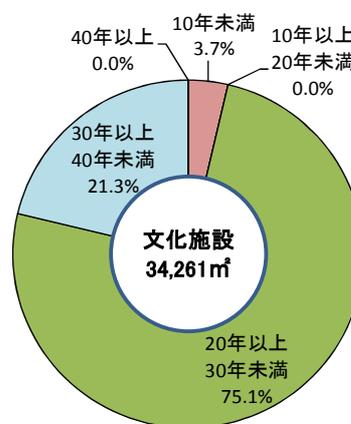
2) 建物性能

文化会館たづくりは建設後20年が経過しています。

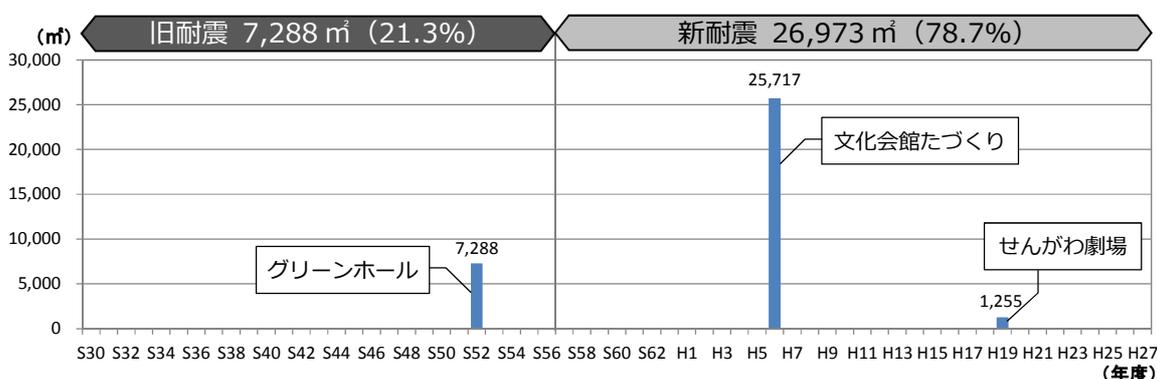
グリーンホールは建設後37年が経過していますが、平成11年度～平成12年度に一度、大規模改修を実施しています。旧耐震基準の建物となっていますが、耐震診断の結果、耐震性を確保していると判断されています。

せんがわ劇場は建設後7年であり比較的新しい施設となっています。

【図表 3-II-199】建設後経過年数の割合（市有施設の集計）



【図表 3-II-200】建設年度別延床面積（市有施設の集計）



バリアフリーについては、文化会館たづくり、グリーンホールは調布市バリアフリー特定事業計画に基づいて対応しています。

また、省エネルギー対応については、平成17年度に隣接する市役所庁舎と一体的な省エネルギー改修を行いました。改修に当たっては、改修における経費を光熱水費の削減で賄う ESCO 事業を実施しました。

【図表 3-II-201】建物性能に関する情報

施設名称	建物名称	建設時期		耐震基準	バリアフリー対応の状況						
		建設年度	経過年数		玄関	駐車場	通路	階段	EV	WC	標示
文化会館たづくり	文化会館たづくり	H6	20	新耐震	○	○	○	○	○	○	○
グリーンホール	グリーンホール	S52	37	旧耐震	○	○	△	△	○	○	○
せんがわ劇場	仙川保育園・せんがわ劇場・仙川ふれあいの家	H19	7	新耐震	○	○	×	○	○	○	○

(4) 施設利用の状況

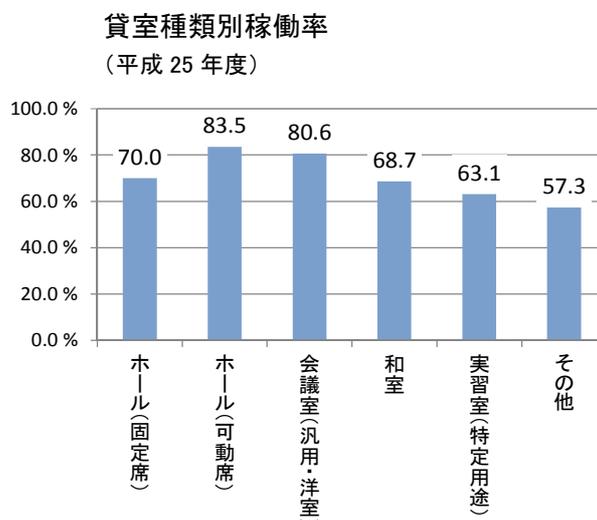
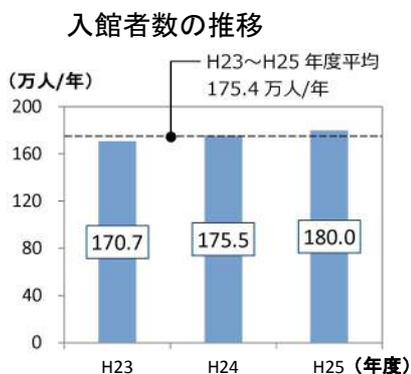
1) 文化会館たづくり

文化会館たづくりの年間入館者数は平成23年度～平成25年度の平均で約175万人となっています。平成25年度の貸室種類別の稼働率は、くすのきホール・映像シアター（ホール・固定席）で70.0%、むらさきホール・大会議室（ホール・可動席）で83.5%、汎用会議室で80.6%となっており、一方で実習室（特定用途）は63.1%の稼働率となっています。



くすのきホール(固定席)

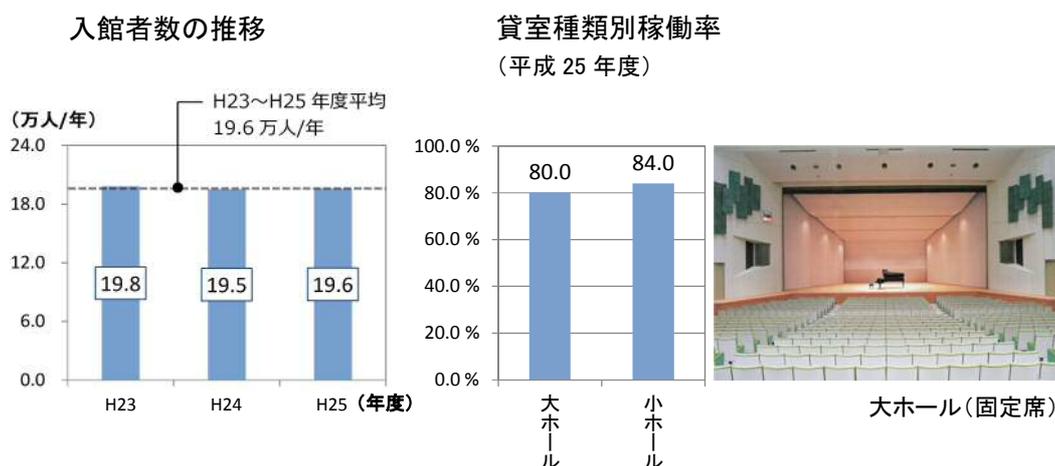
【図表 3-II-202】文化会館たづくりの利用状況



2) グリーンホール

グリーンホールの年間入館者数は平成 23 年度～平成 25 年度の平均で約 19 万 6,000 人となっています。平成 25 年度の稼働率は、大ホールで 80.0%、小ホールで 84.0%となっています。

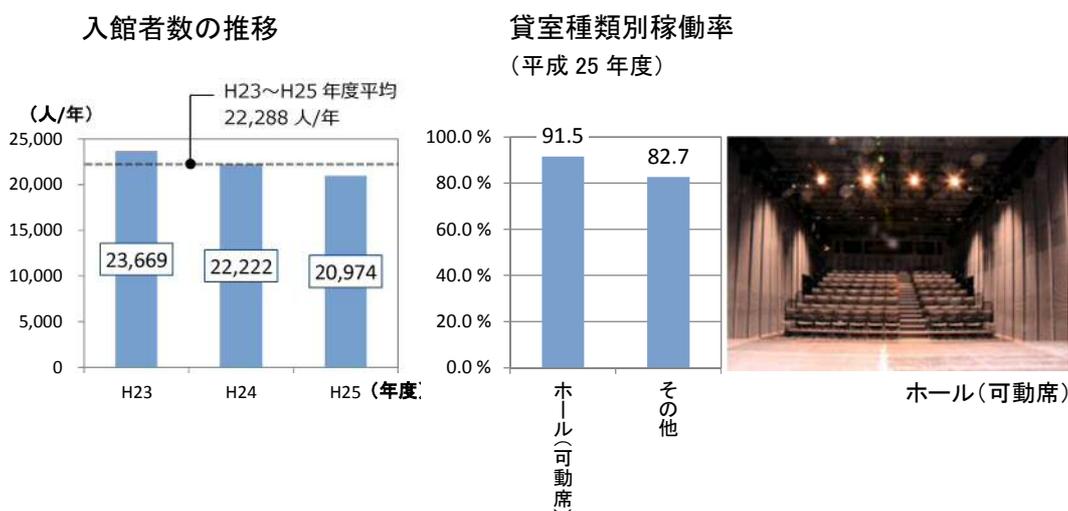
【図表 3-II-203】グリーンホールの利用状況



3) せんがわ劇場

せんがわ劇場の年間ホール入館者数は平成 23 年度～平成 25 年度の平均で約 2 万 2,300 人となっています。平成 25 年度の貸室別の稼働率は、ホール(可動席)で 91.5%、その他(リハーサル室等)で 82.7%となっています。

【図表 3-II-204】せんがわ劇場の利用状況



(5) 管理運営状況

1) 管理運営の概要

文化会館たづくり及びグリーンホールについては、公益財団法人が指定管理者となり、施設の管理運営を行っています。

せんがわ劇場は市の直営となっています。

2) 施設の維持における年間コスト

文化施設における年間の管理運営費（維持管理費＋事業運営費）は、平成23年度～平成25年度の平均で約13億7,000万円であり、そのうち、42.2%（約5億7,600万円）を建物管理委託費が占めています。

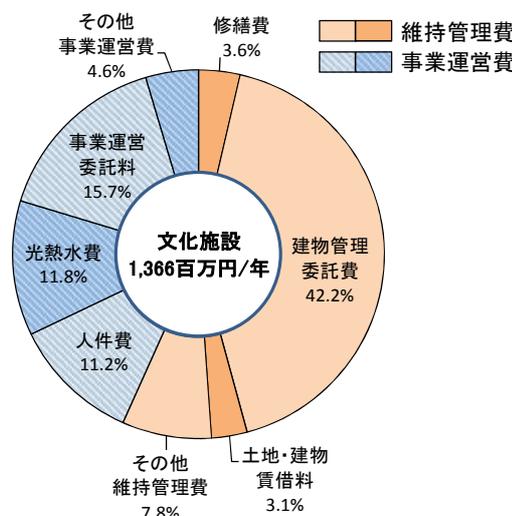
施設整備相当額を含むフルコストは、年間約15億9,000万円となります。

管理運営費から使用料等を差し引いた純コストは年間約10億4,000万円です。

【図表 3-II-205】

年間の管理運営費の内訳

（平成23年度～平成25年度の平均）



【図表 3-II-206】 施設の維持における年間コストの一覧

（平成23年度～平成25年度の平均）

単位: 千円/年

施設名称	運営形態	維持管理費(a)	事業運営費(b)	管理運営費(c) =a+b	施設整備相当額/年(d)	フルコスト(e) =c+d	事業収入(f)	純コスト(g) =e-f
文化会館たづくり	指定管理者	617,942	347,964	965,906	171,448	1,137,354	192,061	773,845
グリーンホール	指定管理者	122,655	176,245	298,900	48,588	347,489	112,721	186,179
せんがわ劇場	直営	33,703	67,638	101,341	8,369	109,710	17,841	83,500
合計		774,300	591,847	1,366,147	228,405	1,594,553	322,623	1,043,525

3) 単位当たりコスト

文化施設の管理運営費を1㎡当りに換算すると、平成23年度～平成25年度の平均で年間約3万9,900円/㎡になります。純コストを市民1人当りに換算すると、年間約4,650円/人になります。

【図表 3-II-207】 単位当たりコストの一覧（平成23年度～平成25年度の平均）

施設名称	1㎡当たり維持管理費(円/㎡・年)	1㎡当たり事業運営費(円/㎡・年)	1㎡当たり管理運営費(円/㎡・年)	市民1人当たりフルコスト(円/人・年)	市民1人当たり純コスト(円/人・年)
文化会館たづくり	24,028	13,530	37,559	5,071	3,450
グリーンホール	16,829	24,182	41,011	1,549	830
せんがわ劇場	26,848	53,880	80,727	489	372
全体	22,600	17,275	39,875	7,110	4,653

文化施設の施設利用料収入を利用件数で割ると、1件当たりの料金収入は【図表3-II-208】のとおりとなります。

【図表 3-II-208】

貸室利用1件当たり料金収入（平成25年度）

施設名称	貸室 利用件数 (件/年)	施設利用料 収入 (千円・年)	利用1件あたり 料金収入 (円/件・年)
文化会館たづくり	28,196	90,860	3,222
グリーンホール	1,510	37,481	24,822
せんがわ劇場	932	9,594	10,294
合 計	30,638	137,935	4,502

(6) 今後見込まれる改修・更新費の試算

文化施設の改修・更新（建替え）における将来経費を【図表3-I-24】（35ページ）の計算方法で形式的に試算した場合、平成27年度以降、今後20年間で約82億5,100万円の改修費が見込まれます。更新費が集中するのは、31～40年目の期間になります。

【図表 3-II-209】改修・更新経費の試算

金額の単位:百万円

	改修費	更新費	合 計	
			発生額	割合
1～10年目	8,251	0	8,251	34.2%
11～20年目	0	0	0	0.0%
21～30年目	314	2,915	3,229	13.4%
31～40年目	0	10,287	10,287	42.7%
41～50年目	0	0	0	0.0%
51～60年目	1,822	502	2,324	9.6%
総計	10,387	13,704	24,092	100.0%

(7) 文化施設における課題認識

1) 施設の性能・機能の視点からの課題

文化会館たづくりやグリーンホールは施設の規模が大きいことから、計画的な維持保全が必要となります。

2) 施設の費用・収入の視点からの課題

文化会館たづくりやグリーンホールは大規模な施設であり、施設の維持や改修・更新に多額の費用を要し、市の財政負担は大きなものとなるため、一層、安全性は確保しながらもライフサイクルコストの圧縮などに取り組む必要があります。

施設の使用料について、持続可能な行政サービスを提供する観点から、より一層の受益者負担の適正化が求められます。

3) その他の視点からの課題

せんがわ劇場は、地域密着型の施設として、地域と連携した取組の推進とともに、事業実施における安定性の確保の観点から、より良い運営方法を検討していく必要があります。

11. 社会教育施設

11-1. 博物館等

(1) 施設の概要

郷土博物館は、郷土の歴史や文化・自然に関するさまざまな資料、情報を、展示や講演会・講座、体験学習会などを通して市民に提供する施設です。

市内の遺跡発掘調査で出土した遺構・遺物等を整理・保管するための分室，文化財資料室，収蔵資料保管庫を別途設置しています。



郷土博物館

深大寺水車館は、明治末期に水車組合が建造した水車小屋（昭和42年まで現存）を、復元した施設です。水車小屋は郷土文化財として位置付けられています。

入場料は無料で、つき臼、ひき臼の体験使用ができます（要予約）。



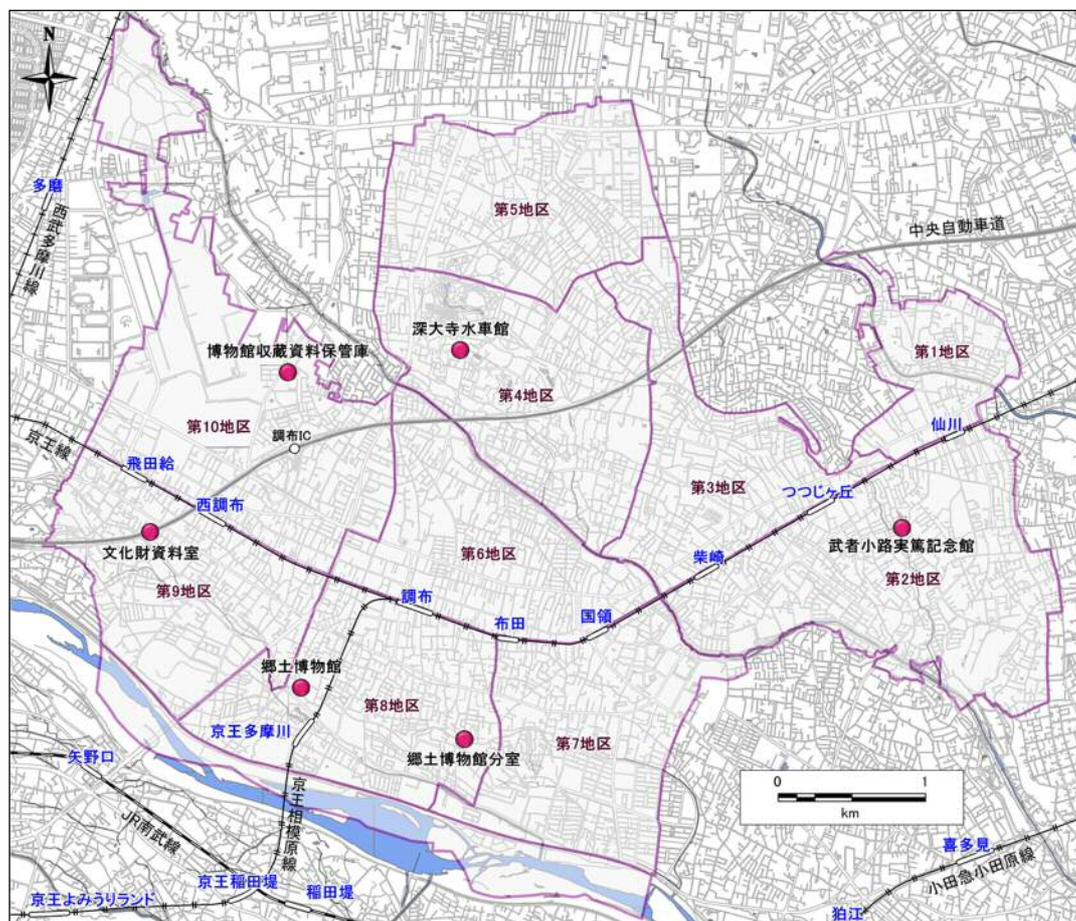
深大寺水車館

武者小路実篤記念館は、仙川の地を晩年の終の棲家とした明治～昭和期の文豪、武者小路実篤の生涯の業績を各種の展示や収蔵品によって後世に伝える施設です。氏の没後、親族から旧邸宅及び所蔵美術品等が市に寄贈されたことをきっかけに、現在、実篤公園として公開している旧邸宅に隣接して設置しました。



武者小路実篤記念館

【図表 3-II-210】 施設配置図



【図表 3-II-211】 施設配置等に関する情報

施設名称	町丁目	広域的地域 (4区分)	基礎的地域 (10区分)	生活地区 (20区分)	開館時間(通常)	定期休館日(通常)
郷土博物館	小島町3丁目	南部地域	第8	富士見台小	平日・土曜・日曜・祝日 9:00~16:00	毎週月曜・年末
郷土博物館分室	布田6丁目	南部地域	第8	布田小	-	-
文化財資料室	飛田給2丁目	西部地域	第9	飛田給小	-	-
深大寺水車館	深大寺元町5丁目	北部地域	第4	深大寺小	4月~10月 9:30~17:00 11月~3月 9:30~16:00	毎週月曜・年末
博物館収蔵資料保管庫	富士見町4丁目	西部地域	第10	石原小	-	-
武者小路実篤記念館	若葉町1丁目	東部地域	第2	若葉小	平日・土曜・日曜・祝日 9:00~17:00	毎週月曜・年末年始

(2) 土地の状況

郷土博物館及び分室の敷地は全て市有地です。文化財資料室は中央自動車道の高架下の敷地を使用しており、博物館収蔵資料保管庫は民間倉庫を借り受けています。

深大寺水車館の敷地は民間から借用しています。武者小路実篤記念館の敷地は一部民間から借用しています。

【図表 3-II-212】土地の状況に関する情報

施設名称	敷地の保有形態	敷地面積(m ²)	市有地面積(m ²)	市有地の割合(%)	【参考】主な用途地域 ()内は建ぺい率、容積率
郷土博物館	全て市有地	1,907.09	1,907.09	100.0%	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
郷土博物館分室	全て市有地	1,087.50	1,087.50	100.0%	第一種低層住居専用地域(50%, 100%)
文化財資料室	全て借地	1,025.00	-	-	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
深大寺水車館	全て借地	274.19	-	-	第一種低層住居専用地域(30%, 60%)
博物館収蔵資料保管庫	その他	市有地以外	-	-	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
武者小路実篤記念館	一部借地	1,490.99	1,326.27	89.0%	第一種低層住居専用地域(40%, 80%)
合計		5,784.77	4,320.86	74.7%	

(3) 施設・建物の状況

1) 施設量及び施設形態

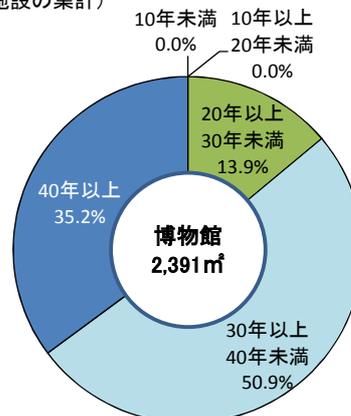
民間から賃借している博物館収蔵資料保管庫を除き、建物は市が保有しています。

【図表 3-II-213】施設量及び施設形態に関する情報

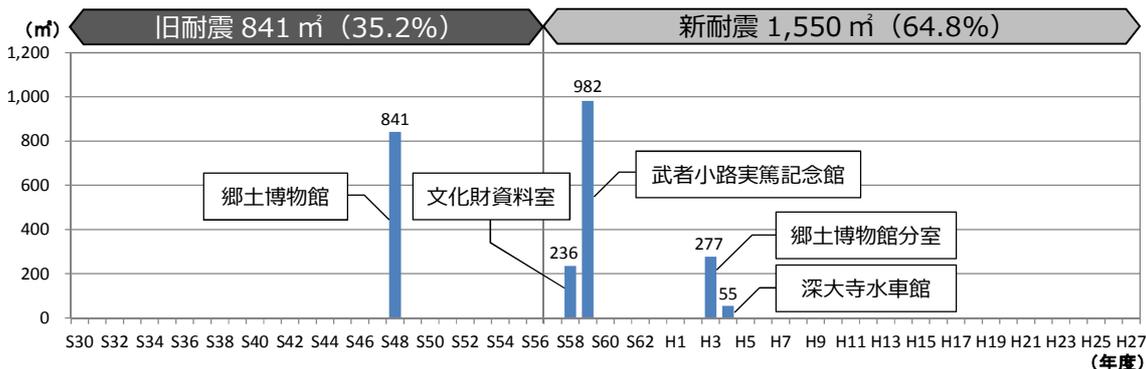
施設名称	建物名称	施設専有延床面積(m ²)	建物全体延床面積(m ²)	保有形態	施設形態	構造	地上階数	地下階数
郷土博物館	郷土博物館	840.92	840.92	市保有	単独施設	RC	2	0
郷土博物館分室	郷土博物館分室	277.00	277.00	市保有	単独施設	LGS	2	0
文化財資料室	文化財資料室	236.00	236.00	市保有	単独施設	LGS	1	0
深大寺水車館	深大寺水車館	55.44	55.44	市保有	単独施設	W	1	0
博物館収蔵資料保管庫	博物館収蔵資料保管庫	-	-	賃貸(棟の一部)	単独施設	-	3	0
武者小路実篤記念館	武者小路実篤記念館	982.00	982.00	市保有	単独施設	RC	2	1
合計		2,391.36	2,391.36					

2) 建物性能

博物館等の建物の延床面積のうち、86.1%が建設後30年以上経過、35.2%が建設後40年以上経過しています。郷土博物館は旧耐震基準の建物ですが、耐震診断の結果、耐震性を確保していると判断されています。

【図表 3-II-214】建設後経過年数の割合
(市有施設の集計)

【図表 3- II -215】 建設年度別延床面積（市有施設の集計）



郷土博物館及び武者小路実篤記念館については、概ねバリアフリーに対応しています。

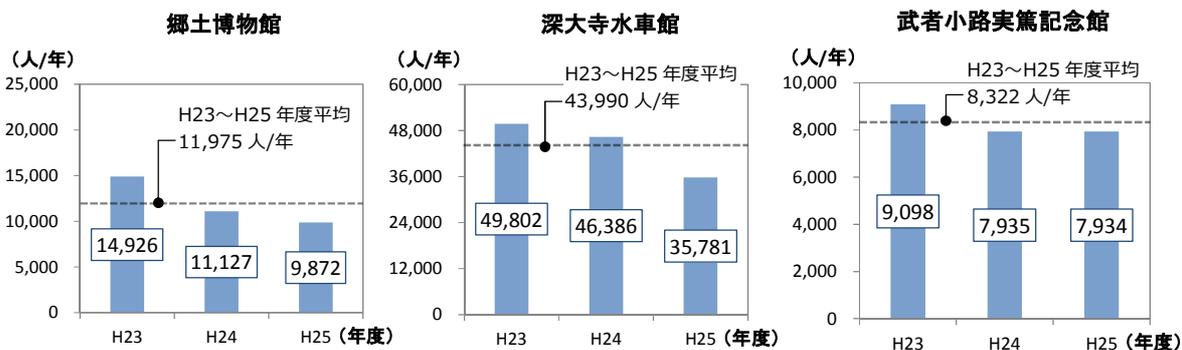
【図表 3- II -216】 建物性能に関する情報

施設名称	建物名称	建設時期		耐震基準	バリアフリー対応の状況						
		建設年度	経過年数		玄関	駐車場	通路	階段	EV	WC	標示
郷土博物館	郷土博物館	S48	41	旧耐震	○	○	△	○	-	○	△
郷土博物館分室	郷土博物館分室	H3	23	新耐震	×	×	×	×	-	×	×
文化財資料室	文化財資料室	S58	31	新耐震	×	×	×	-	-	-	×
深大寺水車館	深大寺水車館	H4	22	新耐震	△	-	-	-	-	-	△
博物館収蔵資料保管庫	博物館収蔵資料保管庫	-	-	保有施設以外	-	-	-	-	-	-	-
武者小路実篤記念館	武者小路実篤記念館	S59	30	新耐震	○	×	○	-	-	○	△

(4) 施設利用の状況

博物館等の年間来館者数は平成 23 年度～平成 25 年度の平均で、郷土博物館が約 1 万 2,000 人/年、深大寺水車館が約 4 万 4,000 人/年、武者小路実篤記念館が約 8,320 人/年となっています。

【図表 3- II -217】 年間来館者数の推移



(5) 管理運営状況

1) 管理運営の概要

郷土博物館及び分室等は市の直営であり、深大寺水車館は公益社団法人に業務委託しており、武者小路実篤記念館は一般財団法人が指定管理者となり、管理運営を行っています。

2) 施設の維持における年間コスト

博物館等全体における年間の管理運営費（維持管理費＋事業運営費）は、平成23年度～平成25年度の平均で約2億9,400万円であり、そのうちの45.2%（約1億3,300万円）が人件費となっています。

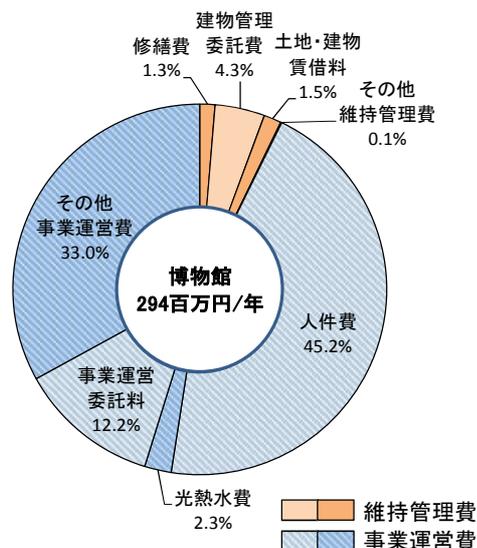
施設整備相当額を含むフルコストは、年間約3億1,000万円となっています。

管理運営費から入館料等を差し引いた純コストは年間約2億9,200万円です。

【図表 3-II-218】

年間の管理運営費の内訳

(平成23年度～平成25年度の平均)



【図表 3-II-219】施設の維持における年間コストの一覧

(平成23年度～平成25年度の平均)

単位: 千円/年

施設名称	運営形態	維持管理費(a)	事業運営費(b)	管理運営費(c) =a+b	施設整備相当額/年(d)	フルコスト(e) =c+d	事業収入(f)	純コスト(g) =c-f
郷土博物館	直営	3,900	117,775	121,675	5,606	127,281	276	121,399
郷土博物館分室	直営	1,210	65,134	66,344	1,847	68,191	0	66,344
文化財資料室	直営	404	0	404	1,573	1,977	0	404
深大寺水車館	委託	4,870	317	5,187	370	5,557	0	5,187
博物館収蔵資料保管庫	直営	4,032	0	4,032	0	4,032	0	4,032
武者小路実篤記念館	指定管理者	6,801	89,171	95,972	6,547	102,518	1,094	94,878
合計		21,217	272,398	293,614	15,942	309,557	1,370	292,244

3) 単位当たりコスト

博物館等全体の管理運営費を1㎡あたりに換算すると、平成23年度～平成25年度の平均で年間約12万3,000円/㎡となっています。純コストを市民1人当たりの負担分に換算すると、年間約1,300円/人になります。

また、利用者1人当たりにおける純コストは、同じく平成23年度～平成25年度の平均で、郷土博物館が年間約1万100円/人、深大寺水車館が年間118円/人、武者小路実篤記念館が年間1万1,400円/人となっています。武者小路実篤記念館の入

館料は大人 200 円、小人 100 円であり、利用者 1 人当たりの料金収入は年間 131 円/人です。

【図表 3-II-220】 単位当たりコストの一覧

(平成 23 年度～平成 25 年度の平均)

施設名称	1㎡当たり 維持管理費 (円/㎡・年)	1㎡当たり 事業運営費 (円/㎡・年)	1㎡当たり 管理運営費 (円/㎡・年)	市民1人当たり フルコスト (円/人・年)	市民1人当たり 純コスト (円/人・年)	利用者1人 当たり純コスト (円/人・年)	利用者1人 当たり料金収入 (円/人・年)
郷土博物館	4,638	140,055	144,693	568	541	10,138	0
郷土博物館分室	4,367	235,142	239,509	304	296	-	-
文化財資料室	1,712	0	1,712	9	2	-	-
深大寺水車館	87,843	5,724	93,567	25	23	118	0
博物館収蔵資料保管庫	-	-	-	18	18	-	-
武者小路実篤記念館	6,926	90,805	97,731	457	423	11,400	131
全 体	8,872	113,909	122,781	1,380	1,303		

(6) 今後見込まれる改修・更新費の試算

博物館等の改修・更新（建替え）における将来経費を【図表 3-I-24】（35 ページ）の計算方法で形式的に試算した場合、平成 27 年度以降、今後 20 年間で約 5 億 9,800 万円の改修費及び約 3 億 3,600 万円の更新費の発生が見込まれます。更新費が集中するのは、11～30 年目の期間になります。

【図表 3-II-221】 改修・更新経費の試算

金額の単位: 百万円

	改修費	更新費	合 計	
			発生額	割合
1～10年目	598	0	598	33.9%
11～20年目	0	336	336	19.1%
21～30年目	0	487	487	27.6%
31～40年目	0	133	133	7.5%
41～50年目	0	0	0	0.0%
51～60年目	210	0	210	11.9%
総計	808	957	1,765	100.0%

(7) 博物館等における課題認識

1) 施設の性能・機能の視点からの課題

郷土博物館の建物は建設後 40 年以上経過しており、建物、設備が老朽化していることから、適切な保全が求められます。

更なる情報発信や需要を生み出す工夫などによって、より一層利用者を増やしていく必要があります。

郷土博物館は、施設の広さに制約があり、展示方法にも制約があることから、館外の他の施設、展示スペースを有効活用するなどの工夫が必要です。

11-2. 公民館

(1) 施設の概要

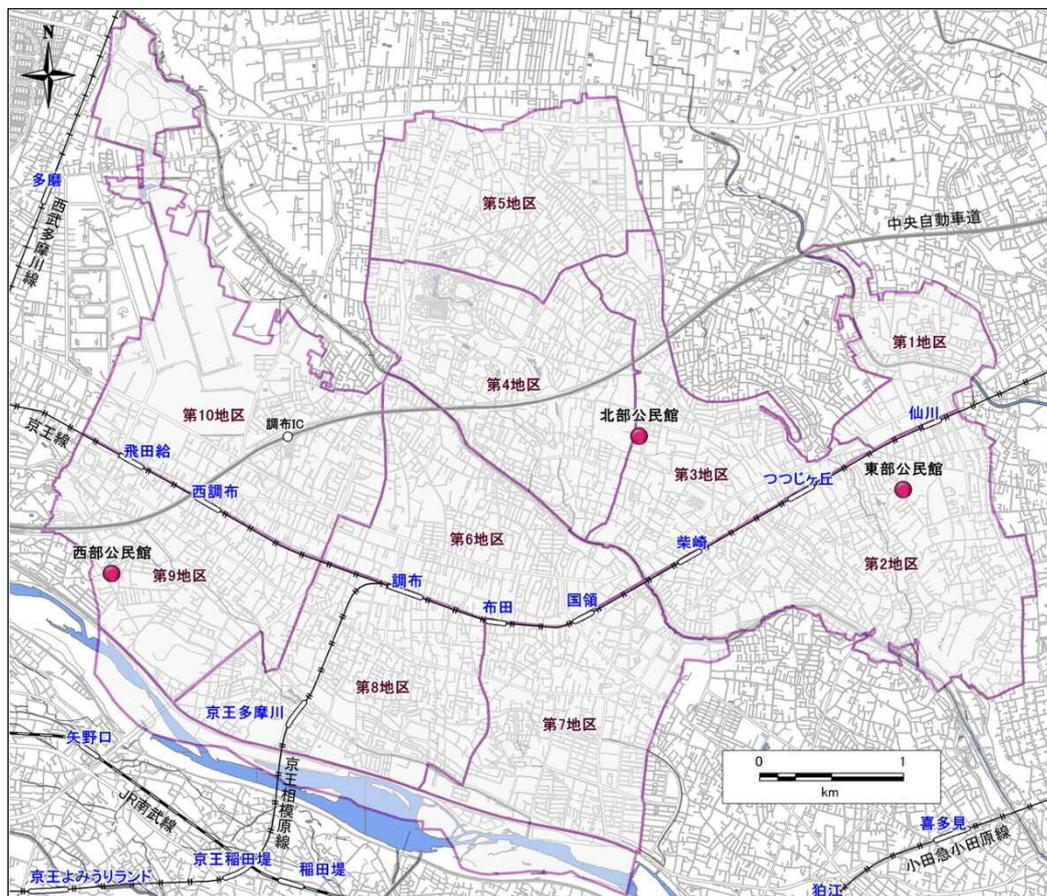
公民館は、社会教育法 20 条に基づいて地域住民の実際生活に即する教育や文化などに関する各種の事業を行い、生活文化の振興や、社会福祉の増進に寄与することを目的としています。公民館が主催する講演・講座・催事のほか、会議室・学習室・実習室等を非営利目的の団体やサークル活動等に有料で貸し出しており、市民の様々な社会教育・生涯学習活動に利用されています。



東部公民館

調布市では、東部・西部・北部の 3 館を配置しており、全ての公民館を、災害時において、帰宅が可能になるまで待機する場所がない帰宅困難者を一時的に受け入れる一時収容可能施設に指定しています。

【図表 3-II-222】施設配置図



【図表 3-II-223】施設配置等に関する情報

施設名称	町丁目	広域的地域 (4区分)	基礎的地域 (10区分)	生活地区 (20区分)	開館時間(通常)	定期休館日(通常)
東部公民館	若葉町1丁目	東部地域	第2	若葉小	平日・土曜・日曜・祝日 9:00~21:30	毎週月曜・年末年始
西部公民館	上石原3丁目	西部地域	第9	飛田給小	平日・土曜・日曜・祝日 9:00~21:30	毎週月曜・年末年始
北部公民館	柴崎2丁目	北部地域	第3	上ノ原小	平日・土曜・日曜・祝日 9:00~21:30	毎週月曜・年末年始

(2) 土地の状況

公民館の敷地は全て市有地であり、住宅地に立地しています。

【図表 3-II-224】土地の状況に関する情報

施設名称	敷地の保有形態	敷地面積(m ²)	市有地面積(m ²)	市有地の割合(%)	【参考】主な用途地域 ()内は建ぺい率、容積率
東部公民館	市の他施設の敷地 (東部保育園)	-	-	-	第一種中高層住居専用地域 (60%, 200%)
西部公民館	全て市有地	3,199.94	3,199.94	100.0%	第一種低層住居専用地域 (40%, 80%)
北部公民館	全て市有地	1,273.23	1,273.23	100.0%	第一種中高層住居専用地域 (60%, 200%)
合計		4,473.17	4,473.17	100.0%	

(3) 施設・建物の状況

1) 施設量及び施設形態

公民館の施設専有延床面積は3施設合わせて約1,700 m², 1施設当たり569 m²であり、建物は全て市が保有しています。東部公民館は東部保育園及び東部児童館・学童クラブ、西部公民館は西部児童館・学童クラブと複合しています。

【図表 3-II-225】施設量及び施設形態に関する情報

施設名称	建物名称	施設専有延床面積(m ²)	建物全体延床面積(m ²)	保有形態	施設形態	構造	地上階数	地下階数
東部公民館	東部保育園・東部児童館・学童クラブ・東部公民館	413.50	1,466.54	市保有	複合施設	RC	2	0
西部公民館	西部公民館・西部児童館・学童クラブ	550.34	1,383.37	市保有	複合施設	RC	2	0
北部公民館	北部公民館	743.29	743.29	市保有	単独施設	RC	2	1
合計		1,707.13	3,593.20					

2) 建物性能

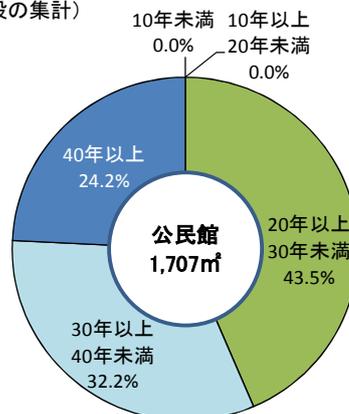
公民館の建物の延床面積のうち、56.4%が建設後30年以上経過、24.2%が建設後40年以上経過しています。

東部公民館は旧耐震基準の建物ですが、耐震診断の結果、耐震性を確保していると判断されています。

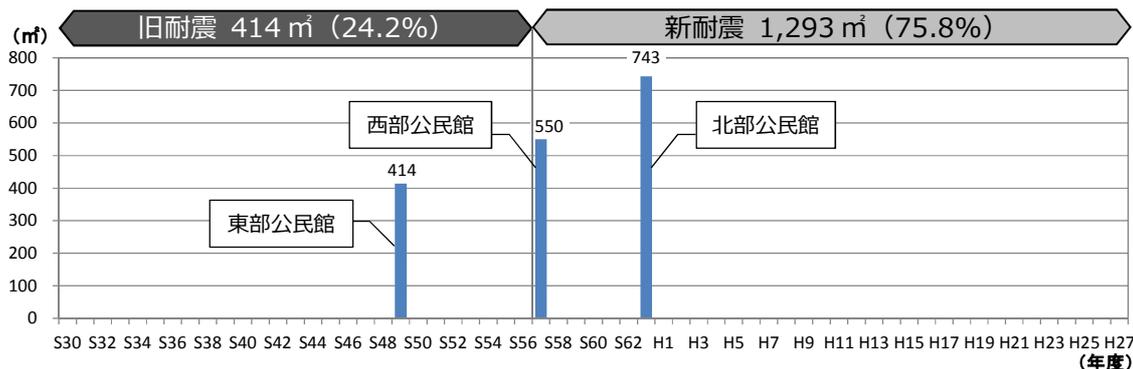
西部公民館、北部公民館は概ねバリアフリーに対応しています。

【図表 3-II-226】建設後経過年数の割合

(市有施設の集計)



【図表 3-II-227】 建設年度別延床面積（市有施設の集計）



【図表 3-II-228】 建物性能に関する情報

(保有施設のみ) (○=対応済, △=一部対応, ×=未対応, -=該当なし)

施設名称	建物名称	建設時期		耐震基準	バリアフリー対応の状況						
		建設年度	経過年数		玄関	駐車場	通路	階段	EV	WC	標示
東部公民館	東部保育園・東部児童館・学童クラブ・東部公民館	S49	40	旧耐震	×	-	×	△	-	△	×
西部公民館	西部公民館・西部児童館・学童クラブ	S57	32	新耐震	○	○	△	○	○	○	○
北部公民館	北部公民館	S63	26	新耐震	○	○	△	○	○	○	○

(4) 施設利用の状況

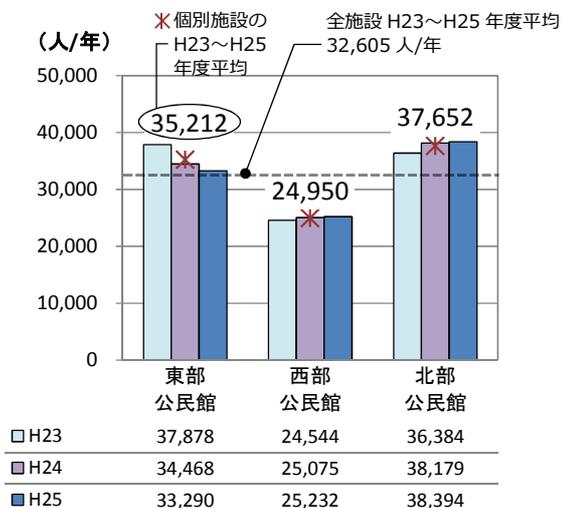
1) 利用時間帯別の傾向

公民館の貸室は午前、午後、夜間の3区分で貸出しを行っていますが、午前、午後の利用に比べて夜間の利用が少なくなっており、時間帯によって利用状況に違いが見られます。

2) 施設全体の年間利用人数

公民館の年間利用人数は、平成23年度～平成25年度平均で東部は約3万5,200人、西部は約2万5,000人、北部は約3万7,700人であり、平均で約3万2,600人となっています。

【図表 3-II-229】 施設全体の利用人数

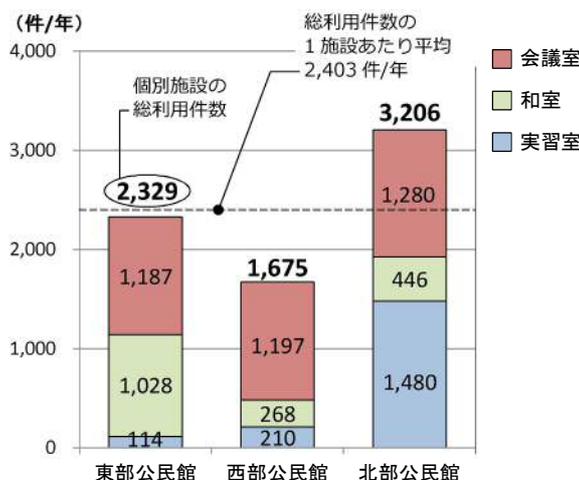


3) 貸室の年間利用件数

平成25年度における公民館の貸室種類（会議室、和室、実習室）別の年間利用件数は【図表3-II-230】のとおりとなっています。

年間の総利用件数は、東部で約2,330件、西部で約1,680件、北部で約3,210件であり、平均で約2,400件となっています。

【図表3-II-230】貸室種類利用件数
(平成25年度)

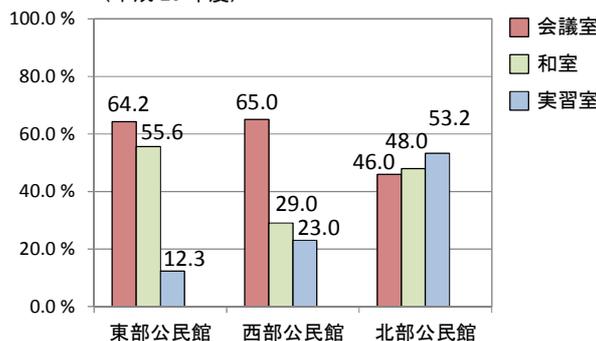


4) 貸室の年間稼働率

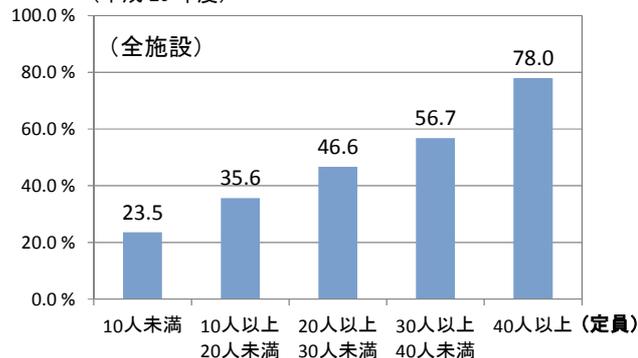
東部と西部では、会議室と比べて和室や実習室（特別用途）の稼働率が低くなっています。北部では定員40人の学習室（実習室）があり、会議室の稼働率を上回っています。

貸室の稼働率を定員規模別に整理すると、最大収容人数の多い貸室ほど稼働率が高い傾向が見られます。

【図表3-II-231】貸室種類別稼働率
(平成25年度)



【図表3-II-232】貸室定員規模別稼働率
(平成25年度)



(5) 管理運営状況

1) 管理運営の概要

公民館は市の直営であり、社会教育法に基づいて、館長、その他、施設の管理運営や主催事業の企画実施に必要な職員を配置しています。

2) 施設の維持における年間コスト

公民館3施設における年間の管理運営費（維持管理費＋事業運営費）は、平成23年度～平成25年度の平均で約1億3,100万円であり、そのうちの65.7%（約8,600万円）を人件費が占めています。

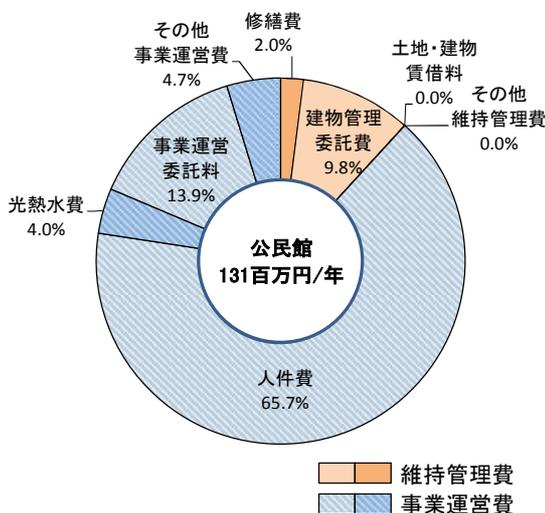
施設整備相当額を含むフルコストは、年間約1億4,200万円となります。

管理運営費から使用料を差し引いた純コストは年間約1億2,900万円です。

【図表 3-II-233】

年間の管理運営費の内訳

（平成23年度～平成25年度の平均）



【図表 3-II-234】施設の維持における年間コストの一覧

（平成23年度～平成25年度の平均）

単位：千円/年

施設名称	運営形態	維持管理費(a)	事業運営費(b)	管理運営費(c) =a+b	施設整備相当額/年(d)	フルコスト(e) =c+d	事業収入(f)	純コスト(g) =c-f
東部公民館	直営	3,680	39,575	43,255	2,757	46,011	351	42,903
西部公民館	直営	4,968	38,243	43,211	3,669	46,879	343	42,867
北部公民館	直営	6,713	37,649	44,362	4,955	49,317	1,018	43,344
合計		15,360	115,467	130,827	11,381	142,208	1,713	129,114

3) 単位当たりコスト

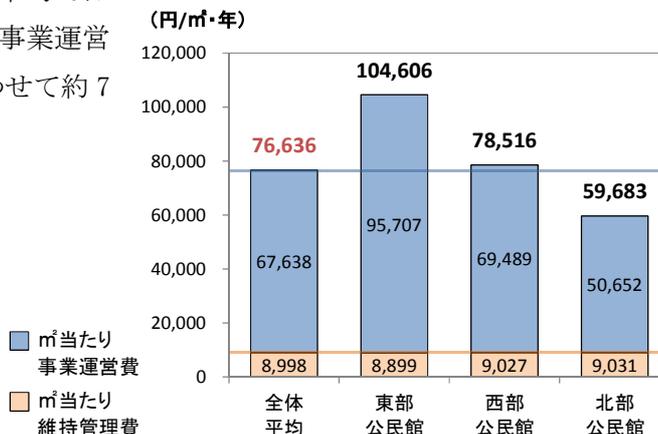
① 1㎡当たりの年間管理運営費

公民館の年間の管理運営費を1㎡当たりに換算すると、全施設の平均では維持管理費が約9,000円/㎡、事業運営費が約6万7,600円/㎡、合わせて約7万6,600円/㎡となります。

【図表 3-II-235】

1㎡当たり年間管理運営費の比較

（平成23年度～平成25年度の平均）



② 市民1人当たりが負担する年間純コスト

公民館の年間純コスト^{※1}を市民1人当りに換算すると、全施設の合計で575円/人、1施設当たりの平均で192円/人になります。

③ 利用件数1件当たりの年間純コスト

公民館の年間の純コスト^{※1}を利用件数^{※2}1件当たりに換算すると、全施設の平均で約1万7,900円/件になります。

【図表 3-II-236】

市民1人当たり年間純コストの比較



【図表 3-II-237】

利用件数1件当たり年間純コストの比較

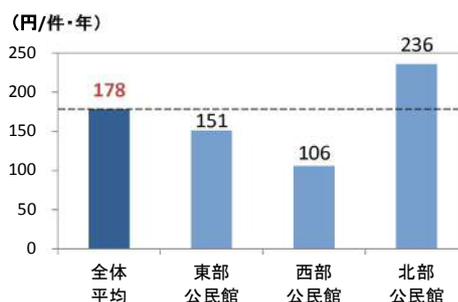


④ 利用件数1件当たりの料金収入

利用料金設定は施設や単位使用時間で異なりますが、1件当たり150円～1,700円の範囲となっております。公民館の利用者に減額団体が多いことから、公民館の年間の料金収入^{※3}を利用件数^{※2}1件当たりに換算すると、全施設の平均で178円/件になります。

【図表 3-II-238】

利用件数1件当たり料金収入の比較



※1：平成23年度～平成25年度の年間純コストの平均額を用いる。

※2：平成25年度の年間貸室利用件数の延べ数を用いる。

※3：平成23年度～平成25年度の年間料金収入の平均額を用いる。

(6) 今後見込まれる改修・更新費の試算

公民館の改修・更新（建替え）における将来経費を【図表 3-I-24】（35 ページ）の計算方法で形式的に試算した場合、平成 27 年度以降、今後 20 年間で約 4 億 2,700 万円の改修費及び約 1 億 6,500 万円の更新費の発生が見込まれます。

【図表 3-II-239】改修・更新経費の試算

金額の単位：百万円

	改修費	更新費	合 計	
			発生額	割合
1～10年目	427	0	427	35.2%
11～20年目	0	165	165	13.6%
21～30年目	0	220	220	18.1%
31～40年目	0	297	297	24.5%
41～50年目	0	0	0	0.0%
51～60年目	103	0	103	8.5%
総計	530	683	1,213	100.0%

(7) 公民館における課題認識**1) 施設の性能・機能の視点からの課題**

3つの施設はそれぞれが大規模修繕または改修が必要な時期に来ており、事業の運営に支障が生じないように、計画的な保守・保全が求められます。

3つの施設の一体的な管理や、柔軟性の高い貸室の運用を図ることが求められます。

類似機能を有する施設の分布及び利用状況を横断的、総合的に把握して、機能的な統合を含めた市民の活動場所の供給、施設の在り方を検証することが求められます。

2) 施設の費用・収入の視点からの課題

施設の使用料について、持続可能な行政サービスを提供する観点から、より一層の受益者負担の適正化が求められます。